

『Light up Dining Infinity』インタビュー：土林さん

1. 店舗名の由来を教えてください。

店舗名が「ライトアップ・ダイニング・インフィニティ」でテーマが「光とリゾート」です。店内の照明機器を整え、店内、店外からも光あふれるレストランを提供したいと考えております。また、店内には80席をご用意しておりますので、結婚式などの催し物や各種イベントなどにもご利用いただける当店の特徴がインフィニティと名付けた由来となっております。

2. お店のイメージやコンセプトはありますか？

2019年6月OPENさせていただいた当店ですが、具体的なイメージとしては、プロジェクター8台を設置し、壁や床に風景や金魚などを投影することで、リゾート感溢れるような店づくりを行っております。

3. なぜプロジェクションマッピングを設置しようと思ったのですか？

プロジェクション会社の方々とタッグを組んで、面白いことややっていこうということで、南国リゾートをイメージしたりリゾート感溢れるコンテンツを提供し、私たちの自己満足にはせず、お客様のニーズをしっかりと叶えるために努力しています。貸し切りが多い店でもありますので、お客様がどういったイベントを行えるかを提案しやすいような設備にしています。

今後の目標としては、eスポーツを展開し話題性をつくり、メディア戦略も視野に入れていきます。

4. 具体的にイベントでどのようなeスポーツが行われているのですか？

元々私（土林さん）がeスポーツであるドローンを行っており、昨年はおち〇いぶいさんから取材を受けたこともあります。そうした経験も活かし、お客様におもしろいことを提供していこうと考えました。

eスポーツは皆さんゲームを連想されますが、ドローンなど電気を使ったスポーツ全般がeスポーツだったりするんです。ちなみに、VRのようなゴーグルを着け、小型のドローンを並んでいるグラスの隙間に通せたりもします。

その映像はとても臨場感ありますよ。“ここの店何かおもしろいことやってるぞ”とお客様に思ってもらうために、ドローンを含め色々取り組んでいます。

